



明治大学ハーモニカソサエティ  
第112回定期演奏会

1988. 6. 4





部長 北島 忠男

北島  
忠男

明治大学ハーモニカ・ソサエティーはおかげ様で創立以来、70年の歴史を綴ってこれてきました。そして今年も春の演奏会を開催する運びとなりました。大学の春は旧・新交替の時期でもあります。ソサエティーでも12名の卒業生を送り出し、また、29名もの新部員を迎え入れました。この29名という数はソサエティーの歴史のなかでも例をみない数です。部員が少なくなると、10名程度の新部員は確保したいものだと話し合った頃を想うと隔世の感があります。

大学が学問の府であるとはいえ、大学での学生生活は多方面にわたって営まれます。とくに大学が様変わりしたといわれる昨今では、学生のクラブ活動も学術研究団体だけでなく、いろいろなスポーツや趣味の団体がたくさんできて、さながらレジャー・ランドのようだとさえいわれるようになりました。こうしたなかでハーモニカ・ソサエティーも発展しているわけです。部員が増えて大世帯になれば、それだけ問題も多くなり、それらを克服しながらのクラブ運営となるわけですからそのなかから学びとられる人生の糧も大きなものになると思います。本日ここにご来場の皆様におかれましても、部員達が音楽の演奏活動のなかから、人間としても大きく成長して行けますよう、また、ソサエティーが10年後にもより盛大な記念の演奏会をもつことができますよう、いっそうのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



OB会長 布施 荘兵衛

布施  
荘兵衛

吾が明治大学ハーモニカ・ソサエティーも、おかげ様をもちまして、今年で70周年を迎えることができました。思い起こせば戦前は演奏会開始、或は終了の折、校歌の演奏が有って来聴者をお迎え、お送りしたものであったが現在は校歌が演奏されないのは実に物足りなさを感じるから支障ない限り校歌を演奏されん事を強く希望する処であります。

次に来聴者の中にはどの様な人が見られるかと云えば戦前活躍した東京リードバンドの会長で指揮者兼独奏者として一世を風靡した松原千加士であって同氏はOB佐藤時太郎氏、OB大塚潤一郎氏、OB守田淑氏と極めて親しかった間柄であった。

その他の来聴者は現在国際的に活躍して居る単音クロマチックハーモニカの森本恵夫氏と複音ハーモニカの奏者、岩崎重昭氏の御両人で共に世界一流の奏者と称しても過言ではあるまい。

戦前には無かった事であるが現在は若き女性の数人のグループが金切り声を張り上げて声援を送ることは全く戦後の事であろう……。

本日、第百十二回の定期演奏会に御出で下され全く有難く深く感謝の意を表する次第であります。



幹事長 山口 清一

山口  
清一

本日は、御多忙の中、私共明治大学ハーモニカ・ソサエティー第112回定期演奏会に御来場頂き、誠にありがとうございます。

同クラブは大正8年に創設され、諸先輩、OBの方々の並々ならぬ御尽力により、数々の至難を乗り越えて、ここに70周年という輝かしい歴史を刻むに至り、本日の記念すべき演奏会開催にあたり、部員一同、歓びと感激に絶えないところであります。

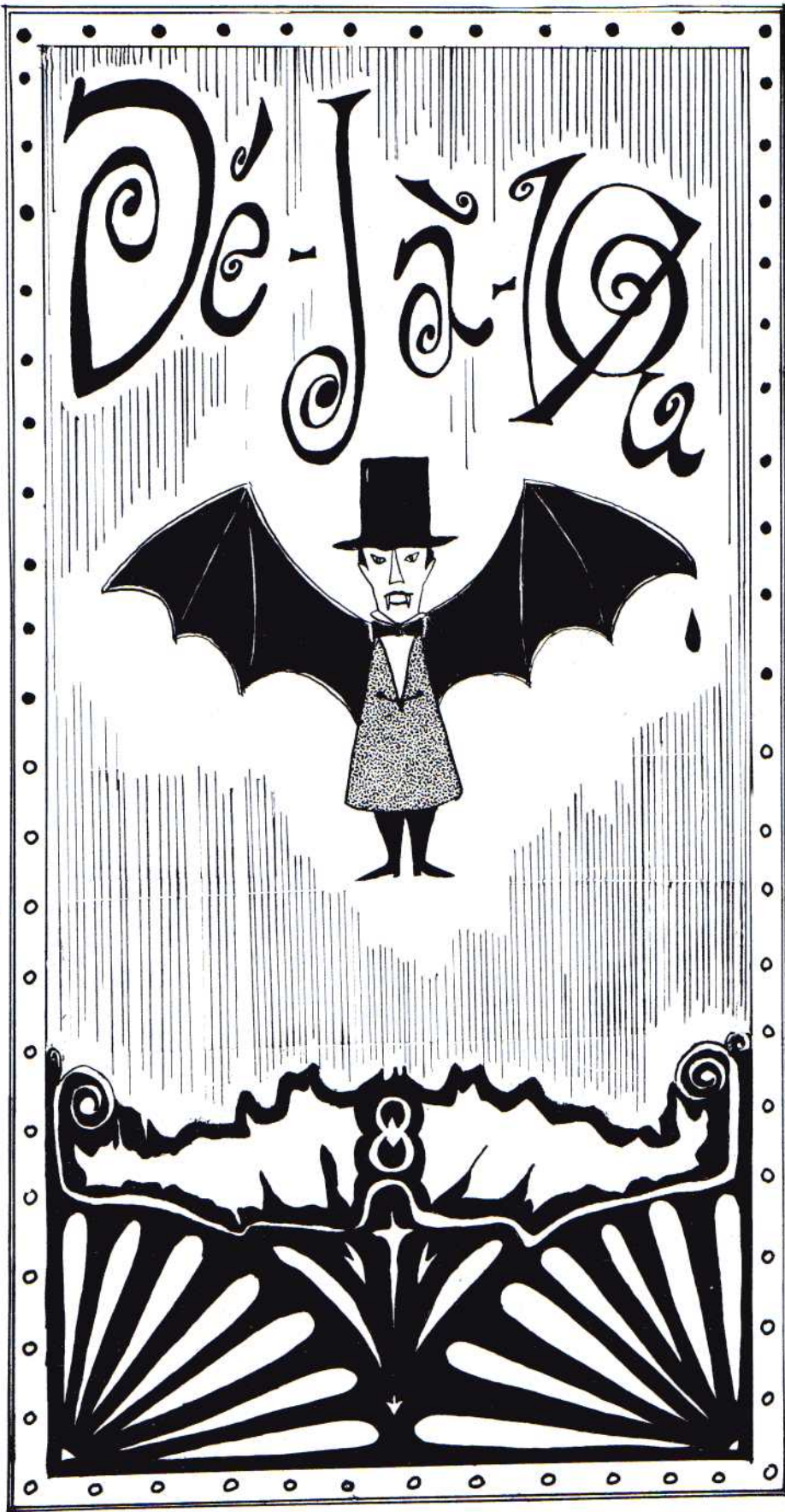
今年も多数の新入部員を迎え入れ、新生明大ハモソも我然盛り上がりまいました。今日の演奏会を最後に4年生は引退になりますが、淡い青春の1ページを飾るべく、素晴らしい一夜になるよう、一同精一杯演奏いたします。

さて、112回目を数える今宵のコンサート、「Dé-Jà-Vu」と題してお送りします。クラシックからロックまで、様々なジャンルを網羅して、ハモソならではのノリで皆様を空想の世界へ御案内いたします。どうぞ御期待下さい。

最後になりましたが、この演奏会開催にあたり、御指導、御尽力頂いた諸先輩をはじめ関係者の方々、並びに御来場の御支援に厚く御礼申し上げます。



SWEET & MILDな



夜をあなたに...

# 1st Stage

## 1. 春咲小紅

Music by A. Yano

じゃじゃーん。もめにもめて決まったこのオープニング。懐かしさをかみしめつつ、目を見はって下さい。

## 2. ボラレ

Music by イタリア民謡

古典的名曲とも言えるボラレを、ハモソ風隠し味ショウダでお送りいたします。

## 3. Only Yesterday

Music by Carpenters

「音楽の原点はやっぱりカーペンターズだ」と、この曲をやる度にA君はいばります。

## 4. Harlem Nocturne

Music by Chuck Brown

荒廃したニューヨークに咲く深紅の薔薇二輪。今夜ここでソロを演奏する二人の明日を知る者はいない……。

メジャーパート三年正田雅博が現指揮者某宮井大介の後任として指揮を務めることとなった。彼には、「まつ毛も麗しニコニコしうだ」の印象があるが、笑顔の裏にかいま見せる殺意に気付き恐怖しているのは私だけであろうか。彼には将来ハモソを意のままにし



♫ ようという、広大かつ恐るべき計画があるに違いない。しかし彼は指揮者としてのスタートを切ってしまった。彼についていくしか私たちに道はない。私たち平部員は宙を切る彼の指先を見詰めつつ観客の皆様におすがりするよりほかないのである……。

## 5. A Nightingale Sang in Berkeley Square

Music by Anita O'day

誰にもマネできないこのとっても女の子なクロマチックソロを吹く彼女は、やっぱりとっても女の子です。

## 6. シュガーはお年頃

Music by Stardust Revue

♪ だからブギウギわくわく揺れる恋でもあなたの後ならついてゆけるわあっ！

## 7. Nice To Meet You

Music by T. Thielemans

こんにちは、ボクはニシちゃんです。コンボ+ボクのクロマチックソロという構成のこの曲は、明大ハモソでは初の試みなんです。気に入ってもらえたら、う・うれしいなあー。

## 8. Let Me Dance For You ~ One

Music by Marvin Hamlisch

思わずステップをふみたくなるようなリズムと各パートの絶妙なコンビネーション。これぞハモソだっと、私は叫びたい。

